

# 水稻生産農家の皆さま

## イネばか苗病の撲滅にご協力をお願いします!!

### 1 「イネばか苗病」が増えています！

- ・「イネばか苗病」は種子伝染性の重要病害ですが、的確な種子消毒で防げます。
- ・平成24年は道内で「イネばか苗病」の中発生以上の事例が目立ちました。(H25.1.28 北海道病害虫防除所)

### 2 「イネばか苗病」とは？【病徴1】

- ・苗床では本葉2～3葉期の苗の黄化と徒長が典型的な症状です【写真①】。苗箱内で近くの苗に伝染します。
- ・発病苗は移植後間もなく枯死します。



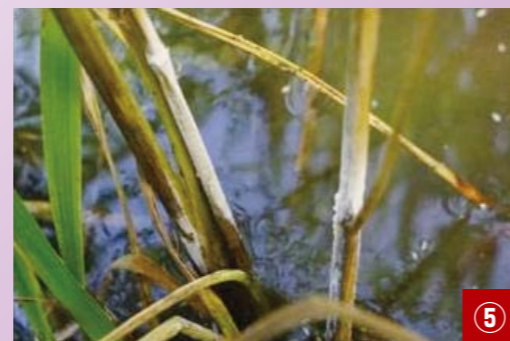
### 3 「イネばか苗病」とは？【病徴2】

- ・苗床で発病せず、潜伏感染していた苗は移植後に本田で発病し徒長症状を示します【写真②③】。
- ・発病株は出穂前に枯死します【写真④】。



### 4 「イネばか苗病」とは？【病徴3】

- ・枯死株の茎、葉鞘、節などに白色～淡紅色の粉状のカビを一面に生じます【写真⑤】。
- ・これが病原菌の胞子で、数百メートル飛散し開花期の籾に感染して翌年の伝染源となります(種子伝染)。



### ◆「イネばか苗病」の対応方法

- ・本病は発病したら薬剤での防除法はありません！
- ・自家採種は保菌リスクが高いため、100%採種ほ産の種子を使用する。
- ・的確な種子消毒で発病させない！
- ・苗床での発病苗はポット育苗ではポットごと、マット育苗では発病苗周辺も含めて土ごと抜き取る(できればマット苗は箱ごと廃棄する)。
- ・本田での発病株は株ごと根付きで抜き取る。  
【写真②③】の段階で抜き取り、出穂前に抜き取りを完了する。  
【写真④】では遅い。
- ・抜き取った苗・株は、焼却するか、土中に埋める。

### ◆種子消毒(温湯消毒・生物農薬等)の注意

- ・生物農薬は適切な薬液温度を守る。
- ・温湯消毒は定められた処理温度・時間・量を守る。
- ・温湯消毒後の種子は速やかに冷却し、乾燥または浸種。
- ・各種子消毒法を組合せる。(表参照、H22北海道普及推進事項)
- ・消毒方法が異なる種子や未消毒種子と一緒に浸種しない。

表 種子消毒法による「ばか苗病」防除効果の違い

種子消毒法		防除効果 (ばか苗病)
単独処理 (対照区)	エコ (エコホープ浸種前200倍浸漬)	C~D
	エコDJ (エコホープDJ浸種前200倍浸漬)	D
	食酢 (食酢50倍)	D
	温湯 (温湯消毒60℃10分)	B~C
	タフ (タフブロック200倍)	D
組合せ 処理	エコ + 食酢	B~C
	エコDJ + 食酢	B~C
	温湯 + 食酢	B~C
	温湯 + タフ	B~C

(防除効果) B: 化学農薬と比べほぼ同等、C: やや劣る、D: 劣る